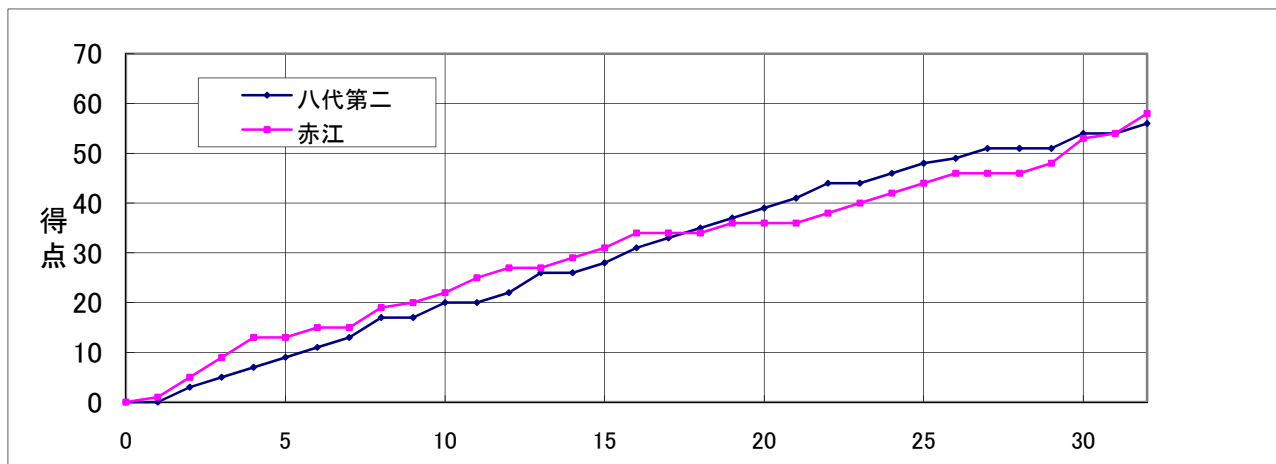


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	B1	10:00	男子1回戦															
		八代第二 56 (熊本2位) ●	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	17	—	19	14	—	15	15	—	8	10	—	16	—	—	—	58 赤江 ○ (宮崎1位)
		17		—	19														
14	—	15																	
15	—	8																	
10	—	16																	
—	—	—																	
期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	会場	大分県立総合体育館																

主審 野田 大樹 副審 鶴田 佑介



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:14 10:31	30:40 31:39 31:54	—	—

八代第二

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 岩本 匡史 (C)	14	1	4	3	3
5	* 今田 涼	4	0	2	0	2
6	* 吉川 巧哉	4	0	2	0	4
7	* 宮川 優斗	11	1	4	0	1
8	* 村嶋 聡紀	21	3	6	0	2
9	早田 鎌汰朗	—	—	—	—	—
10	赤坂 慧	2	0	1	0	2
11	末廣 大嗣	—	—	—	—	—
12	轟池 大樹	—	—	—	—	—
13	蓑田 庄平	—	—	—	—	—
14	宮本 将一	—	—	—	—	—
15	森 賢司	—	—	—	—	—
16	松田 大河	—	—	—	—	—
17	坂口 聖人	—	—	—	—	—
18	田中 健大	—	—	—	—	—
コーチ	松田 隆					
合計		56	5	19	3	14

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
06:52	19:01 29:06 31:39	—	—

赤江

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	倉永 誠也 (C)	2	0	1	0	1
5	岩切 蒼	—	—	—	—	—
6	* 大岩本 峻	4	0	1	2	1
7	* 宮崎 悠大	17	0	8	1	1
8	* 熊瀬川 崇広	24	0	9	6	1
9	* 松浦 義仁	6	0	3	0	1
10	* 松浦 翔太	5	0	1	3	1
11	久永 翔太	—	—	—	—	—
12	櫻屋 透真	—	—	—	—	—
13	川越 北斗	—	—	—	—	—
14	川越 隼斗	—	—	—	—	—
15	長友 陸	—	—	—	—	—
16	畑中 瑞貴	—	—	—	—	—
17	熊瀬川 照博	—	—	—	—	—
18	河野 亮太	—	—	—	—	—
コーチ	湯徳 良子					
合計		58	0	23	12	6

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

1Q、試合開始直後、赤江の#8熊瀬川が積極的に攻め、相手のファウルを誘い得点を重ねる。八代第二もミドルシュートや3Pを使って対抗し、徐々にゲームの流れを引き戻す。5分すぎから一進一退の攻防が続き、17-19で1Q終了。

2Q、両チームともに2-3のゾーンでインサイドを固めるディフェンスでスタート。赤江は#7宮崎、#8熊瀬川にボールを集めインサイドから、八代第二は#4岩本、#8村嶋、#10赤坂のアウトサイドからのシュートで、両チーム得点を重ねる。31-34の赤江リードで前半終了。

3Q、八代第二の三連続シュートが決まり、この試合初めてリードを奪う。八代第二は、赤江のインサイドに対して激しくチェックをいれボールを奪い、攻めにつなげる。それでも赤江は、インサイドにボールを集め得点をのぼさうとするが、八代第二が流れをつかみ、リードしたまま46-42で3Q終了。

4Q、両チーム共にインサイドのディフェンスと、リバウンドに対してファールギリギリのプレーでプレッシャーをかける。残り2分54秒、タイムアウト後の赤江#8熊瀬川のフリースローで同点。その後、赤江はインサイド、八代第二はアウトサイドで得点をとる。残り21秒からのプレーで赤江#8熊瀬川がシュートを決め、2点リード。残り6秒で八代第二がタイムアウト。最後シュートを打つものの決まらず、56-58で赤江の勝利で試合終了。最後まで、両チームとも粘り強く戦った見応えのある試合であった。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

【戦評】 記者 前田・卯野 (所属) 大分県中体連バスケット専門部